



コロナ禍の今だからこそ、防災シンポジウムと避難訓練を実施! 市民とともに、より**災害に強いまちづくり**を

防 災 シンポ ジウム

“自助・共助・公助” コロナ禍における避難所生活を学ぶ

10月20日 曜 10:00～12:00

アプラたかいし(大ホール) 参加無料

問合先 危機管理課 ☎(275)6247

コロナ禍で今までとは異なる避難所運営の知識が必要に

熊本県を中心に発生した「令和2年7月豪雨」では、避難所は開設されたものの、パーティションの設置やソーシャルディスタンスの確保など、厳しい避難所生活を強いられることとなりました。

東日本大震災での避難所運営の知識を学ぶ

今回のシンポジウムでは、平成23年の東日本大震災において福島県庁避難所運営チームの責任者として活躍されたご経験を持つ、福島大学特任教授の天野和彦氏をお招きし、被災者に対する感染症対策への取組をご講演いただきます。この防災シンポジウムでの議論をふまえて、11月5日の地震・津波総合避難訓練を実施します。なお今後は、現在進めている本市の地域防災計画の見直しや住民自ら考えていただく「地区防災計画」づくりに取り組むことで、市民の皆さんとともに、より災害に強い防災のまちづくりをめざします。

講演 [第1部] 基調講演(10:15～10:55) 「コロナ禍における避難所生活について」

福島大学 うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授
天野 和彦 氏

[第2部] パネルディスカッション(11:05～11:55) 「高石市の避難所について」



講師・パネリスト

天野 和彦 氏
福島大学
うつくしまふくしま未来支援センター
特任教授



コーディネーター

牧 紀男 氏
高石市防災危機管理
アドバイザー
京都大学防災研究所教授

パネリスト

福井 淳太
高石市副市長(元 府危機管理室長)

会場内の感染症対策について

皆さんに安心・安全にご参加いただくため、事前に自主防災組織等にて参加申し込みをしていただき、会場内座席には1席ごとに間隔を設けて着席していただきます。また、ご入場の際には手指消毒やマスクの着用、検温等にご協力をお願いします。

避難訓練

第10回 高石市地震・津波総合避難訓練

11月5日 曜 午後1時 ? 分、地震発生!

問合先 危機管理課 ☎(275)6247

津波避難訓練 (鴨公園へ)

対象区域 津波浸水想定区域内及び近接する区域
(千代田・高師浜・加茂・綾園・羽衣・東羽衣・西取石の一部)

南海トラフ巨大地震が発生すると、本市では地震発生から約 100 分後に最大 5mの津波が到達すると想定されています。訓練では、大津波警報が発表されたら想定し、いち早く浸水想定区域から鴨公園をめざして高台に避難してください。また、支援が必要で浸水想定区域外への避難が難しい方は、自主防災組織と連携して、津波避難ビル等に避難してください。



直下型地震訓練 (取石小学校へ)

対象区域 取石小学校区

地震発生後、まず身の安全を確保してください。直下型地震では、「同時多発火災」による被害が最も危険とされています。火災から身を守るため、最寄りの指定緊急避難場所へ避難してください。その後、取石小学校運動場にて、小型ポンプを使用した初期消火訓練を実施します。



新型コロナウイルス感染症対策を想定した避難所開設訓練

実施場所 総合体育館、取石小学校体育館

総合体育館、取石小学校体育館において、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した実践的な避難所開設訓練を行います。感染予防対策を講じながら、段ボール間仕切り、屋内テント、段ボールベッドの組み立てなど、実際の物品を利用して訓練を行います。



お願いします!

訓練にあたっての新型コロナウイルス感染症対策について

皆さんに安心・安全にご参加いただくため、事前に自主防災組織や参加事業所等にて参加申し込みをしてください。個人での参加の場合は会場で名簿にご記入ください。

また、避難行動中は周囲の方と1m程度の間隔を保って移動してください。ただし、訓練中に体調が悪くなった場合等は、列から離れる、マスクを外すなど、無理のない行動を意識してください。

総合体育館内、取石小学校体育館内におきましては、混雑の状況により入場制限をさせていただく場合がございます。ご入場の際は、1m程度の間隔を保って、手指消毒やマスクの着用、検温等にご協力をお願いします。